

久山中便り

久山中学校
令和8年4月17日発行
第06号

各教科の授業スタート

授業開き

授業が本格的に始まりました。

三年生は、進路実現のために、二年生は一年間の積み重ねの上に、そして、一年生は少し難しくなる学習への挑戦として、一コマ一コマを大切にしたいとあります。

中学校の授業では、各先生方に「話し合い活動」を通して、生徒の皆さんに発表する機会を多く取り入れるようお願いしています。

「話し合い」では、他者の考えや意見を聞いて、最終的に自分で判断する。

「発表」では、自分の考えを聞いてもらうと同時に、他者の意見も尊重する。

そんな授業が、多く展開されると思います。



一年生の数学の授業では、「ナンプレ(9x9のマス目に1から9までの数字を、ルールに従って埋めていく論理パズル)」を行っていました。初めて挑戦する友達もいましたので、さつそく班の中で話し合いが行われ、お互いに教え合いながら、解決していく姿を見ることができました。

中学校に限らず、社会の中でも、話し合いの中で、他者の意見を参考にしながら、自分の考えを発表する力(プレゼンテーション力)が求められる時代です。

「自らの意見に自信を持ち、どんな人にも配慮しながら、理解ある社会(みどりコミュニケーション)」を作っていく担い手として、さらに、自身の力を磨いてくれることを期待しています。

交通安全教室

16日(木)の6時間目は、粕屋警察署交通

課、福岡県交通安全協会の方をお招きして、交通安全教室を行いました。

久山中学校は、自転車通学が可能です。今年四月から、自転車の運転の交通ルールが変わったことも教えていただきました。



特に、歩道を通行するルールが変わり、自転車、車道を通らなければならないこと(普通自転車補導通行可の標識がある歩道を除く)の説明がありました。

久山町では、どこに自転車通行可の歩道があるのでしょうか。(現在、役場に問い合わせ中)いずれにせよ、自転車の運転者として、歩行者や自動車に留意し、自分の身を守ると同時に、他者も傷つけないという高い意識を持つことが必要です。

ヘルメットのあごひもをしつかり締めて、安全運転しましょう。

気合の入った三年生

三年生が、体育会に向けたリーダーとしての意識を高めています。特に、ブロック長や種目リーダー、生徒会役員は、校歌の声の大きさに、最後の体育会に向けた意気込みが感じられます。

さらに、木曜日の放課後は、三年生の合同帰りの会でした。久山会館で三年生全員が、気持ちを入れて校歌を歌いました。

帰りの会が終わって、帰ろうとしている一・二年生は、久山会館から聞こえてくる校歌の大合唱に「何事か?」という視線を注いでいました。(きつと伝わったと思います)

三年生にとっては、最初のリーダーとなる学校行事。一・二年生のあこがれとなる姿を今後の全体練習等で披露してくれることに期待が高まるばかりです。